

統合レポート対策、高騰する資源価格への備えは、 サプライチェーン管理から

原材料調達の安定化は企業活動の要です。サプライチェーンの見える化は統合レポートの準備にもなります。

こんなことでお困りではありませんか？

- スコープ3の報告、どう対応すればいいかわからない。
- 原材料の価格が高騰している（しそうだ）が、どう対応していいかわからない。
- 原材料の取り扱い品目が多く、サプライチェーンが複雑。どこから取りかかればいいのか？
- サプライチェーンのどこで環境に最も大きな影響を与えているのかわからない。
- 1次サプライヤーより上流の状況をどうやって確認すればいいかわからない。

こんなことが簡単にわかります

- 御社が普段から管理している財務、製品、原材料、サプライヤー、環境に関するデータをもとに、サプライチェーン全体の環境影響を算出します。
- サプライチェーン全体の温室効果ガスの排出量や水使用量及びその環境リスクを算出します。
- それ以外にも、廃棄物、大気汚染、土地利用といった多様な環境負荷をサプライチェーン全体で包括的に算出します。
- 環境負荷を定量的に算出することによって、御社の事業のリスクがどこにあるかがわかります。

御社のサプライチェーンの環境インパクトを定量的に評価し、サプライチェーンの**リスクを可視化**することで、近い将来のリスクを回避することが可能となります。このことで、**持続可能な調達網**を築き、長期にわたり**安定的な経営**が行えるようになります。

Trucostのここがすごい

Trucostはこの分野での世界的先進企業

- Trucostは2000年の設立以来10年以上にわたって蓄積したデータをもとに、企業の環境影響を定量評価するための、世界で最も先進的で信頼性の高いデータベースを構築しています。
- これまでに世界で100,000社以上の環境パフォーマンスを分析。多くの先進企業が同社のサービスを利用しています。
- WRI/ WBCSDのGHGプロトコル（スコープ3）算定報告基準に関する技術ワーキンググループのメンバーとして基準づくりに携わる他、生物多様性の経済学（TEEB）や国連の責任投資原則（UN-PRI）などのイニシアティブにおいて、自然資本の経済価値評価を技術面で支えています。

【お問い合わせ先】

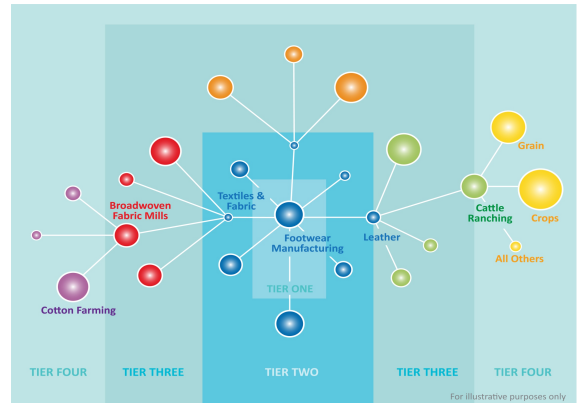
株式会社レスポンスアビリティ 担当：武末（たけすえ）
<http://www.responseability.jp>
電話：03-6303-9799 Email：takesue@responseability.jp

欧米の先進企業でも活用されているTrucostの手法を用いて、サプライチェーン上の環境リスクを様々な形で可視化することができます。

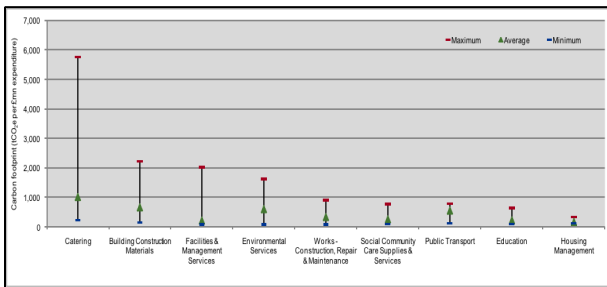
1. 環境損益計算書 (EP&L)

	Water use Emillion	GHGs Emillion	Land use Emillion	Other air pollution Emillion	Waste Emillion	TOTAL Emillion	% of total
	33%	32%	26%	7%	2%	100%	
TOTAL	47	47	37	11	3	145	100%
PUMA operations	8	6%
Tier 1	13	9%
Tier 2	14	10%
Tier 3	27	19%
Tier 4	83	57%

2. バブルチャート

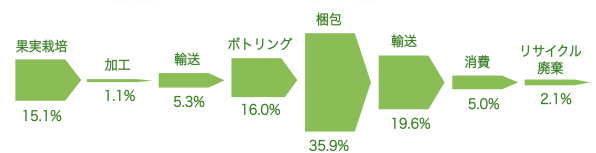


3. ベンチマーク分析



4. ライフサイクルアセスメント

ジュース生産におけるGHG排出量



1. サプライチェーンを含めた事業全体の環境コストの評価。どのような環境負荷（GHG排出、土地利用、大気汚染、廃棄物など）がサプライチェーンのどの段階でどのくらいあるのかを把握できます。
2. どの段階の、どのサプライヤーがどれくらいの環境リスクを持っているのかを直感的に把握できます。
3. 自社の事業所やサプライヤーの環境パフォーマンスを他社と比較することができます。
4. バリューチェーンのどこでどの程度の環境負荷があるのか、製品レベルで把握できます。

※この他にも、ご希望に応じて多様な分析が可能です。

レスポンスアビリティがトータルで支援

企業の希望に添った最適な分析モデルの設計

Trucostは、企業の希望に応じて多様な分析を行うことができるため、適切な分析方法を慎重に検討する必要があります。レスポンスアビリティは高い専門性と豊富な経験を基に、お客様の目的にあった最適な分析方法と活用方法を提案します。

分析結果に基づく経営戦略や調達戦略の策定支援

環境リスクを適切に管理し、持続可能な経営につなげるためには何を行うべきか、Trucostによる分析結果をもとに、生物多様性や自然資本、CSR調達に関する専門的な観点からアドバイスをし、さらには実際のサプライチェーン管理までお手伝いいたします。

サービスの流れ

【分析の設計】 RAI
↓
(お見積、ご契約)
↓
【分析】 TC
↓
【分析結果の解釈と対策の検討】 RAI

RAI: レスポンスアビリティ
TC: Trucost

【株式会社レスポンスアビリティ】

企業による生物多様性保全やCSR調達を中心としたCSR専門のコンサルティング会社。多くの国内先進企業に対し、戦略的なサプライチェーンマネジメントの実現を支援。国際的な視点から、常に最先端の事例と手法を紹介し、実効性のある活動を支援。

【Trucost (トゥルーコスト)】

本社ロンドン。世界各国から集めたデータを基に、温室効果ガス、水、大気汚染、廃棄物などの企業の環境影響を分析する。この分野でのリーディング企業。先進的な例としてはPUMA社の環境P&Lの算出が有名。